

未来をみつめ、地域の発展を願って

経営理念

私ども佐賀銀行は「地域密着と健全経営」に徹し、地元金融機関として良質な金融サービスを提供し業務を通じて地域社会の発展に奉仕します。

経営の基本方針

地域社会の発展に奉仕する

地域に根をおろす地域の銀行として、地場産業の振興・発展をお手伝いするとともに、地域社会の皆さまの豊かな生活づくりと地域文化の向上にお役に立つよう努めます。

顧客および株主の信頼に応える

お客さまにご満足いただけるサービスの向上を目指します。
また、時代の変化に積極的に対応した経営によって株主の皆さまの期待にお応えします。

従業員の福祉を向上させる

人間尊重の風土を育むとともに、よりよい職場環境の醸成によって行員一人ひとりの豊かな生活づくりを目指します。

中期経営計画

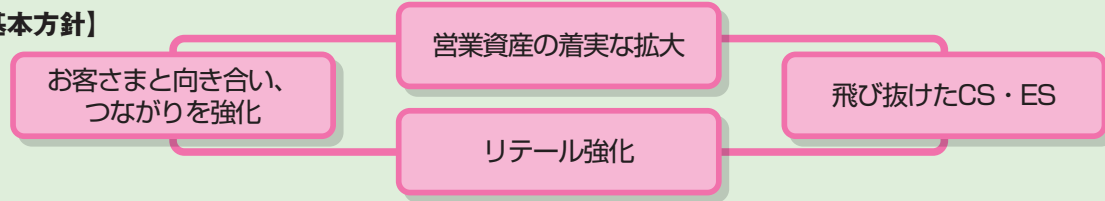
金融機関を取り巻く環境が従来にも増して激しく、かつ大きく変わろうとする中で、当行は確固たる営業基盤と強靱な経営体質を築くため、3か年計画の中期経営計画を策定しております。

第14次中期経営計画（平成25年4月～平成28年3月）

【目指す姿】

「元気で暖かい銀行、どこか違う銀行」を目指して

【基本方針】



【具体的な取組み】



コンプライアンス（法令等遵守）態勢の確立・各種リスクの的確なコントロール

目標とする経営指標	平成27年度（目標）
実質業務純益	80億円
当期純利益	35億円
自己資本比率（国内基準）（注1）	11%前後
Tier I比率（注1）	8.3%
不良債権比率（注2）	3%前後

（注1）バーゼルⅡベース

（注2）不良債権比率は金融再生法開示債権比率です。

目標とする預貸金	平成27年度（当初目標）	平成27年度（上方修正後）
総預金平残	2兆円	2兆800億円
総貸出金平残	1兆3,000億円	1兆3,500億円

（ご参考）

預貸金	平成26年度実績
総預金平残	2兆344億円
総貸出金平残	1兆3,050億円

第14次中期経営計画の最終年度となります平成27年度の預貸金目標につきましては、平成26年度実績が平成27年度の当初目標を上回っていることから、上方修正した目標を記載しております。